

### メディアアプロデュース応用演習成果発表会

ネットワーク情報学部メディアアプロデュースプログラム2年次生39人による成果発表会が「カワサキをPRしよう!」展」と題し、1月20日、生田キャンパスで開かれた。

「川崎市イメーリアップCMコンテスト」全応募作品や、グループで制作したかわさき市民活動センター登録9団体の紹介作品を展示・上映。福富忠和教授が総務省に申請中のホワイトスペース特区の先行実験として、全作品をワンセグで配信する試みも行われた。



▲ 福富教授(左)と「川崎市CMコンテスト」で最優秀賞を獲得した小山さん

### CMコンテストでの成果やホワイトスペース実験も

川崎の魅力や30秒のCM映像作品でPRする「川崎市イメーリアップCMコンテスト」(川崎市主催)では最優秀賞、優秀賞、川崎市長賞、審査員特別賞(2作品)の5賞を独占。最優秀賞の小山翔平作品の大きな要素になった。

小山さんは「作品づくりでいろいろと大変なところもありました。優秀賞を受賞したことはとても嬉しかったです。『デート中、いきなり誰かの子の視線で川崎の楽しさを表現したい』と受賞の感想を話した。

小山さんの作品は1月17日、NHK(テレビ神奈川)でスポットCMとして放映されたほか、市のホームページなどでも活用される予定となっている。

川崎市長賞「Changin' Town Kawasaki」、瀧澤勇樹▽審査員特別賞「emory of Kawasaki」、岩原瞳▽同「From川崎」大澤諒

### 学外展示会

## コウサ展2011

### 「結晶」テーマに開催

ネットワーク情報学部をWEBアプリ上で戦わせる「イラXバト」、ブラウザで動かした車を動かすプログラムを作成する「うごくんですカー」も実施された。



▲ 特別イベントの「イラXバト」(上)と「うごくんですカー」

## 大学生生活のすべてが「自分探し」に

「キャリアデザイン」とは、将来どうありたいという自分をイメージし、仕事の場で生き生きと働けるような道筋を自分で主体的につくり上げていくこと。キャリアデザインセンター(センター長小林隆ネットワーク情報学部教授)では、学生一人ひとりがより良い意思決定を行い、社会人としての基礎的能力をつけて、学生生活から職業生活へスムーズに移行できるように、多様な支援プログラムを展開している。このうち、本学の特徴的なものは、川崎市と連携して行っている課題解決型インターンシップだ。

「キャリアデザイン」とは、将来どうありたいという自分をイメージし、仕事の場で生き生きと働けるような道筋を自分で主体的につくり上げていくこと。キャリアデザインセンター(センター長小林隆ネットワーク情報学部教授)では、学生一人ひとりがより良い意思決定を行い、社会人としての基礎的能力をつけて、学生生活から職業生活へスムーズに移行できるように、多様な支援プログラムを展開している。このうち、本学の特徴的なものは、川崎市と連携して行っている課題解決型インターンシップだ。

川崎市と連携して行う本学独自の地域密着型長期インターンシップ。地域で活動する企業や団体が抱える課題について学生が主体となって解決策を提案する。答えのない現実の課題に取り組むことで「自分で考える力」を養う。10年度は18のプログラムに延べ247人の学生が参加した。川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)でイベントを企画した石黒平明さん(経営3)は、「社会人の方々や他大学の学生との交流を通じていろいろな価値観に出会うことができました。また、彼らと意見交換を行うことでコミ

ユニバーシティ能力の重要な授業でインプットした多くの知識を発揮できました。また、問題点が発生したとき、あきらめず向き合うことと学びました」とそれぞれ感想を話した。

● **キャリアノート**  
キャリアデザインは自分標などを書き入れることで課題を明らかにし、自己理解を深めるツールとなる。ノートの記録は就職活動の際にも役立つ。

● **キャリアカウンセリング**  
就職課が具体的な就職活動に関する相談窓口になる。必要に応じて、キャリアデザインセンターは、学生生活をどう細くサポートして確認できるように過ごせばよいの

### キャリアデザインセンター



▲ モルテックからの課題に取り組み完成した製品を「東京国際ナショナルギフトショー」に出展(東京ビッグサイト)

### 漫画研究同好会



2011年度は、「社会的講座を実施する。水キャリアデザインセンター1生田キャンパス4号館2階(044)711899) e-mail: career@acc.sei-nshu-u.ac.jp

● **専大ベンチャービジネスコンテスト**  
起業家を講師に招き、ベンチナスプログラムの一環として行われる。

● **今後の取り組み**  
2011年度は、「社会的講座を実施する。水キャリアデザインセンター1生田キャンパス4号館2階(044)711899) e-mail: career@acc.sei-nshu-u.ac.jp

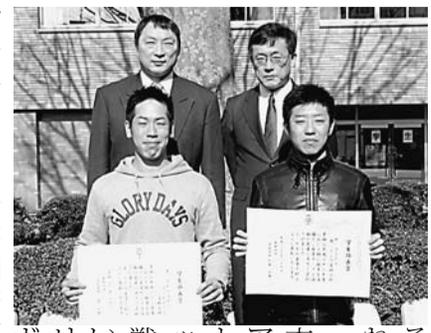
● **専大ベンチャービジネスコンテスト**  
起業家を講師に招き、ベンチナスプログラムの一環として行われる。

● **今後の取り組み**  
2011年度は、「社会的講座を実施する。水キャリアデザインセンター1生田キャンパス4号館2階(044)711899) e-mail: career@acc.sei-nshu-u.ac.jp

● **サーフライフセービング愛好会**  
● **オーストラリアン・フットボール愛好会**  
著しい成果を挙げた8位と健闘。また、サークルを表彰する平メンバ全員がベイスン成2年度の学生部長賞、サーフ・ライフにサーフライフセービングの資格を取得。サーフ愛好会とオーストリアン・フットボール愛好会が選で監視活動を行っていた。

● **サーフライフセービング愛好会**  
● **オーストラリアン・フットボール愛好会**  
著しい成果を挙げた8位と健闘。また、サークルを表彰する平メンバ全員がベイスン成2年度の学生部長賞、サーフ・ライフにサーフライフセービングの資格を取得。サーフ愛好会とオーストリアン・フットボール愛好会が選で監視活動を行っていた。

### 2団体は学生部長賞



▲ JAF(日本オーストラリアン・フットボール協会)のトップリーグに参戦し、奮闘しているオーストラリアン・フットボール愛好会は、国際大会での活躍が表彰され、両愛好会がAsian Championの代表に阿藤正道学長に出席した生部長から賞状と賞金アジアン連合チームに5人が授与された。写真。人が選抜され、小野隼が授与された。写真。人が選抜され、小野隼が授与された。写真。人が選抜され、小野隼が授与された。